

## 町産材の活用 進まないのは

**姉帯委員** 町産材活用への補助金が減っているのはなぜか。活用が進まないのはどうしてか。

**農林環境エネルギー課長** 一般住宅のほか牛舎も対象としており、3年度で大型の牛舎建築事業が完了するため、4年度は一般住宅のみ4件を想定。町産材を資材として扱う業者を選び、相談し進めることが重要で、実績に応じて補正予算でも対応したい。

## 菜種の収穫 コンバインで

**辰柳委員** コンバインの購入に対する補助金を計上している。遊休農地の解消対策と思われるが、具体的な内容は。

## 病院経営 課題への対応

**鈴木委員** 病院経営を赤字にするのは大変なことである。経営向上のため、今後、検討課題についてどのように考えているか。  
**病院事務局長** 人口減少により患者数も年々減少するため、収益の確保が課題である。今ある人的資源で可能な医療体制により、診療報酬の確保に努めたい。

## 公共施設 今後の見込み

**山崎委員** 将来の公共施設整備へ向けた基金が約

**農林環境エネルギー課長** 町農業再生協議会が購入し、町がその半額を協議会へ補助するもの。遊休農地の解消対策として菜種を推奨、今まで収穫が手刈りだったため、なかなか普及しなかった。

去年、コンバインのデモ機で刈り取りし、菜種500キロを収穫、現在、菜種油を製造している。アタッチメントの交換で、そばなどの刈り取りにも活用できる。さらに遊休農地の解消に努めたい。

## 文化財の予算 もっと充実を

**近藤委員** 文化財関係の予算をもっと充実し、将来の子どもたちに葛巻の文化財、歴史を伝えていくべきと思うがどうか。  
**まなび交流課長** 新たな事業を展開する中で、必

33億円となっている。今後の推移、事業の見込みについて伺う。  
**副町長** 病院建設と江川簡易水道の整備に係る借入金金の返済が、4年度から始まるためこの基金を取り崩し活用する。また、役場新庁舎の建設へも充てる予定である。

今後は、馬淵川地区（北部地区）の水道管の布設替工事を行い、保育施設や各地区のセンター等の老朽化に対応する予定。また、北上山系開発事業で整備した畜産開発公社の育成牛舎も老朽化が進んでおり、早急に対応が必要な施設と認識している。

## 水道会計の赤字 改善の検討は

**近藤委員** 水道会計は数年、赤字が続いている。今後、町民が安心して水

要な財源を確保、予算の充実を図り、文化財保護委員とも協議し進めたい。

## スポーツ習慣化 対象は何か

**山崎委員** スポーツ習慣化事業は、具体的に何が対象か。

**健康福祉課長** ウォーキング、ランニング、サイクリングの3つである。町は今まで、健康づくりのため健診事業に力を入れて取り組んできたが、ギャップがあった。

## エンジョイ チケット継続

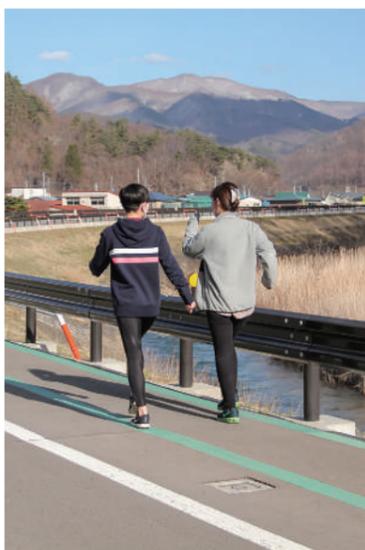
**遠藤委員** コロナ対策のスポーツ習慣化の動機付けに、運動した距離数により商品券をお渡しする。健康寿命の延伸と医療費や、介護費用の負担を減らすことを目的としている。

道を使用していくため、改善策を検討しているか。  
**副町長** 企業会計に移行し、会計上の現金の支出を伴わない償却資産などがあり、赤字という形になっている。現段階では留保資金の基金もあり、対応できている状況である。

住民負担の軽減からも水道料金の見直しは、慎重に検討しなければならぬと考えている。

## 消防団の報酬見直し どう変わるか

**山崎委員** 見直しは、近隣町村と比較してどうか。  
**総務課長** 消防庁からの通知、基準額に合わせ増額した。現在、全国自治体で検討している。



健康づくりに取り組む町民（町道茶屋場田子線）

経済活性化事業の内容は、**いらっしやい葛巻推進課長** エンジョイチケットの販売で5千円分を4千円で、1万冊発行する予定である。また、事業所等へは、換金の際に10%の還元、さらに町内の飲食店で使用できる千円分のクーポンをセットする。

持続化給付金事業や特産品販売促進事業（送料無料）も継続し実施する。

## どう進める 町の人材確保

**辰柳委員** デジタル化や

団へ支払っている。今回、消防庁から、報酬の本人支給を徹底することが示され、本町も見直しする。

**柴田委員** 各分団運営費は、団員報酬と地域の寄付によるところが大きい。各分団の意向もあるが、運営費を見直す時期では。  
**副町長** 各分団の活動に地域の方々から寄付をいただいている。4年度から各分団屯所の光熱水費を町で負担する。地域の負担軽減、高齢化が進む状況からも、今後、課題を整理し、改善に努めたい。

## 固定資産税の減額 要因は何か

**柴田委員** 固定資産税の償却資産が、2270万円と多額の減額であるが、要因は何か。また、後年への影響はないか。

## 道の駅レストラン なぜ長引いたか

**住民会計課長** 風力発電の送電線に町外分が含まれており、修正申告されたもの。所有者の申告に基づき課税、当町の事務的な課税の誤りではない。  
**副町長** 3年度で修正し、後年への影響はない。

**姉帯委員** 道の駅レストランは2年12月に着工し、当初計画では3年9月頃に完成、オープンする予定だった。町民も心配している。なぜ長引いたか。  
**農林環境エネルギー課長** 3年12月末に工事は完了したが、備品の調達などでさらに時間がかかった。

4年2月中のオープンを目指し、運営者と調整を重ねてきた。コロナの影響もあり厳しい状況ではあったが、3月1日にオープンした。